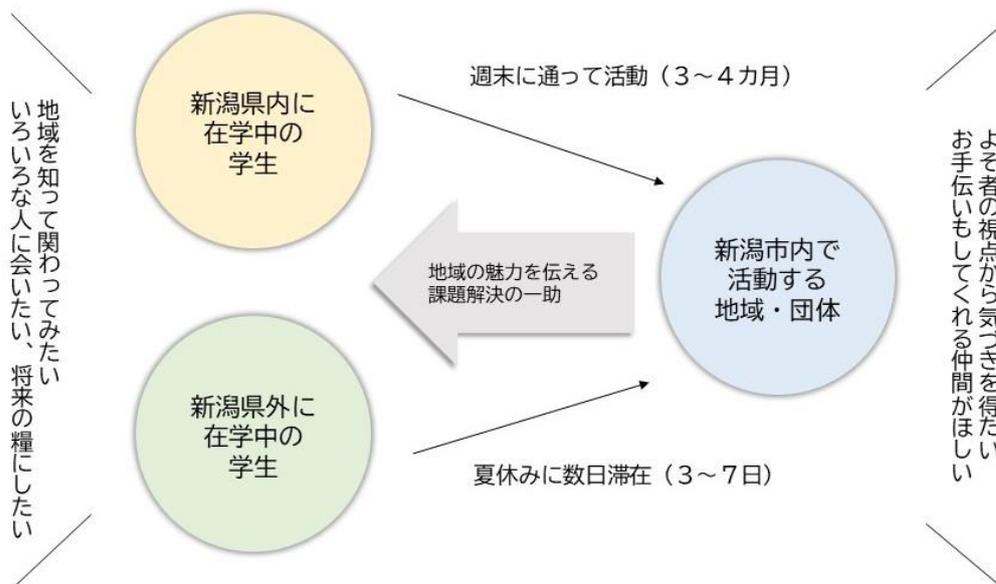


学生×地域の魅力探求プロジェクト「トビラ」2025 学生の受入をご検討の皆様へ

■トビラプロジェクトとは



トビラプロジェクトとは、新潟市に愛着を持つ関係人口を増やし、卒業後の転出抑制や転入促進につなげることを目的に、新潟市内外の大学等に在学中の学生が、新潟市内の地域活動を行う地域団体や住民と出会い、地域の暮らしや活動の体験を通して地域課題解決等に向けてともに活動するものです。

学生にとっては実践的な学びや地域の皆さんとのつながりを育む機会となり、新潟市内の地域団体・事業者の皆様にとっては、共感・応援してくれる若い仲間を増やし、活動の充実・課題解決等につながる機会になると考えています。

■これまでのトビラプロジェクトの実績

	学生参加数	プロジェクト数	受入団体
令和元年度	20名	5	石本商店、松浜Rプロジェクト、まきどき村他
令和2年度	20名	5	南区果樹農家、岩室町内会、支え合いのしくみ支援センター他
令和3年度	15名	5	赤塚いもジェンヌ農家、松浜市、おてつだいプラス他
令和4年度	21名	6	パッチワーク AKIHA、タウンウォークかめだ他
令和5年度	19名	6	岩室ともや、ハマベリング、松野尾コミセン他
令和6年度	17名	6	間瀬未来会議、角田地区コミュニティ協議会、小須戸 ART プロジェクト実行委員会、しもまちシェアハウス、タウンウォークかめだ、YAKKOTE

令和元年度にスタートした「トビラプロジェクト」ですが、受入団体は町内会、コミュニティセンター、シェアハウスやまちあるき団体、農家や事業者など多岐に渡ります。

学生が活動するプロジェクトのゴールや成果物は受入団体と事務局で協議して決めますが、参加学生の興味・関心などを踏まえ都度話し合い、軌道修正や予定を追加したりしながら臨機応変に進めるため、このチームだからこそその独創的なアウトプットや成果がたくさん生まれました。

また、学生は単位取得やアルバイト代などを目的に参加するわけではないため、個性豊かで意欲的な人達が集まるのも「トビラプロジェクト」の特徴です。

*成果物（例）



町の店や取り組みをまとめたパンフレット

地域の花火への想いをまとめたムービー

空き家活用のアイデア案

※その他、にいがたイナカレッジのHP または新潟市 HAPPY ターン のサイト上にも「トビラプロジェクト」に参加した学生の感想レポートなどが掲載されています。

【参考】

- ・ [2023 岩室シェアハウスとも家滞在記](#)
- ・ [2022 滞在型プロジェクトレポート「松浜の和と輪」](#)

令和 7(2025)年度 受入団体募集要項

令和 7 (2025) 年度のトビラプロジェクトの受入団体を下記のとおり募集いたします。
本募集要項よくお読みの上、「申込方法」に記載の方法でお申し込みください。お問い合わせ・ご質問もいつでも受け付けていますのでお気軽にご相談ください。

◆受入を募集するプロジェクト

① 通い型プロジェクト

期間：令和 7 年 9 月～12 月の約 3～4 か月 ※活動頻度は受入団体と学生の都合で調整
参加者：新潟県内の学生

② 滞在型プロジェクト

期間：令和 7 年 8 月～9 月 ※おおむね 1 週間程度
参加者：県外の学生

◆募集団体数

4 団体（通い型プロジェクトの受入 2 団体、滞在型プロジェクトの受入 2 団体）

◆費用

受入団体としての参加費は無料。ただし各プロジェクトを進める上でかかる実費は受入団体の負担となります。

※ 1）参加者の食費、交通費は学生の自己負担です（現地まで公共交通機関で行くことが難しい場合はイナカレッジ事務局と受入団体で調整して送迎）。

※ 2）通い型プロジェクトは成果物作成費などとして 1 万円、滞在型は滞りに係る費用として 2 万円をイナカレッジ事務局から補助します。

◆参加学生について

- ・参加する学生は、1 プロジェクトにつき 3～4 人です。
- ・参加する学生は「トビラプロジェクト」事務局のいいたイナカレッジがホームページや SNS で募集し、マッチングイベントや個別説明会などの開催を通して決定します（参加する学生は学校の授業やゼミなどではなく、一個人として申し込みます）。

◆受入団体の条件

- ・新潟市内に活動拠点があること。
- ・受入団体として主体的に活動し参加する学生と関わる意欲があること。
- ・事務局や新潟市役所と一緒に、参加した学生が地域やコミュニティに愛着が持てるような活動プロジェクトを企画できること。
- ・特殊・高度な技術や専門性を必要としない、且つ危険が伴わない活動を設定できること。
- ・学生が地域の多様な人達や活動の場に関われるよう、地域の中で各種調整できる構成員

がいること。

- ・必要に応じて、学生・事務局との打ち合わせに参加できること。
- ・(滞在型プロジェクトの場合) 滞り場所(宿泊施設に限るものではない)を確保できること。
- ・(通い型プロジェクトの場合) 活動拠点が確保できること。

◆にいがたイナカレッジ事務局と受入団体との役割分担

○イナカレッジ事務局が行う役割は以下のとおりです。

- ① プロジェクト設計や受入に関する受入団体との協議・サポート
- ② 受入団体、参加学生の募集・面談・選考
- ③ 受入団体向けの研修・打ち合わせの実施
- ④ プロジェクトを円滑に進めるためのプロジェクト準備のサポート
- ⑤ プロジェクト期間中、状況を把握し必要があれば受入団体及び参加学生をサポートしプロジェクトを推進する。
- ⑥ 全体報告会の開催
- ⑦ プロジェクト全体の発信(主にインスタグラム)

○受入団体が行う役割は以下のとおりです。

- ① 参加学生を受け入れるためのイナカレッジとのプロジェクト設計等の打ち合わせ
- ② (滞在型プロジェクトの場合) 宿泊場所の確保
- ③ プロジェクトに必要な地域の関係者・活動場所・備品等の調整・準備
- ④ 参加学生との顔合わせ・打ち合わせ、活動スケジュールの調整
- ⑤ 地域内で活動報告会を実施する場合の各種調整

◆受入団体申込締切

令和7年5月30日(金)

◆申し込み方法

「受入地域・団体名、担当者名、希望内容」を記載の上、下記アドレスにメールで送信してください。

送信先 e-mail : info@inacollege.jp

(にいがたイナカレッジ 担当：金子 知也)

なお申込を検討される際に詳細を聞きたい・相談したいなどのご要望がありましたら、上記アドレスにその旨ご連絡ください。

◆プロジェクト実施までの流れ

- 5月 (必要に応じて) イナカレッジ事務局と事前相談・協議
- 5月30日 「地域×学生の魅力探求プロジェクト トビラ 2025」受入団体申込書の送付
- 6月初旬 イナカレッジ事務局との打ち合わせ・協議
- 6月～7月 参加学生募集 (都度、イナカレッジ事務局が学生と面談)
- 7月下旬 参加学生決定
- 8月 オンラインによるオリエンテーション(可能であれば受入団体の方もご参加ください)
- 8月下旬～ プロジェクト開始

※令和8年1月下旬に全体報告会を行います。通い型の学生は対面参加、滞在型の学生はオンライン参加を予定しています。受入団体の担当者の方もご出席をお願いします。

企画・運営：にいがたイナカレッジ (公益社団法人 中越防災安全推進機構)

担当：金子 知也

0258-39-5525 / e-mail : info@inacollege.jp

主催：新潟市雇用・新潟暮らし推進課